

## ○研究プロジェクト「ファイナンス手法による関心・安全な社会の構築」

開催責任者 ビジネス研究科 田畑吉雄

2007年7月28日

南山大学名古屋キャンパス J棟 J53 会議室

2008年1月12日

南山大学名古屋キャンパス J棟特別合同研究室

研究プロジェクトは以下のとおり、開催された。

### ◇プロジェクト構成員および所属

田畑吉雄（南山大学ビジネス研究科）

赤壁康弘（南山大学経営学部）

竹澤直哉（南山大学経営学部）

山下忠康（南山大学ビジネス研究科）

近藤 仁（南山大学経済学部）

八木恭子（東京大学金融教育研究センター）

### ◇研究プロジェクトの討論内容および進展状況

今回の研究会ではリアル・オプションの話題を中心に東京、および、関西から研究者を招き、最先端の研究課題について報告を受けた。リアル・オプションはファイナンスの諸手法を、投資問題、不動産担保証券のような REITs を初めとして環境問題にまで応用を目指す新分野であり、若手の研究者の台頭が目覚しく、本研究プロジェクトの研究課題ときわめて密接な関係にある。

研究報告会では、竹澤氏の報告に対しては、不動産価値評価とヨーロッパ型オプションの関係、不動産の現物価値評価に対する重回帰分析法とデータの扱い方について熱心な議論が行われた。また、八木氏の報告に対しては社債の償還時期の考え方と、経営意思決定との相違について、西原氏に対しては、八木氏との類似性の観点から金融市場での割引率とリアル・オプション分野での割引率との関係、および、入手可能なデータの範囲とその信頼性についてであった。最後に、辻村氏の発表に対して、現実の環境問題を確率制御問題として捉えた場合の問題点が参加者からいくつか指摘された。

進展状況としては、企画責任者が今年の9月に1ヶ月間入院加療のため、予定の研究集

会が開催できず、さらに、研究活動費の使途が限定されている関係上、他大学所属の有能な研究者の報告を受けることができないため、当初の計画ほど進展していない。残りの期間でプロジェクト参加者各自の成果を期待している。

**◇研究成果発表**

未定。